

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会
(平成24年度第2回) 議事概要

1. 日 時 平成24年10月4日(木) 10:00~12:00
2. 場 所 九段第3合同庁舎 11階 共用会議室4
3. 出席者

[委員長]

石田 東生 (筑波大学大学院システム情報工学研究科教授)

[委員]

石渡 恒夫 (社団法人 神奈川経済同友会代表幹事)

久保田 尚 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

小濱 哲 (横浜商科大学貿易・観光学科教授)

二村真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科准教授)

牧野 昌子 (特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)

味水 佑毅 (高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授)

[関東地方整備局]

道路部長 池田 豊人

4. 議 事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

- ・ 中部横断自動車道(長坂~八千穂)の計画段階評価の試行

<委員からの主な意見等>

○今後の進め方について委員長からの提案

- ・ 「南麓地域での整備への異論」や「旧清里有料道路の活用への懸念」が多くあったことから、案1(全区間で新たに道路を整備する案)を改良し、清里高原の南側のルートを含めて検討するワーキンググループ(WG)を設置すべき。
- ・ WGの実施にあたっては、丁寧なコミュニケーション活動を行っていく必要がある。
- ・ 長野県内区間については、環境アセスメントの準備調査を行う段階に進んでも良いのではないかと。

○委員長からの提案について委員からの意見

- ・ コストを無尽蔵にかければ良いというものではない。コスト縮減を念頭におきつつ、ルート検討を進めるべき。
- ・ 清里地域は、観光資源が豊富で、知名度の高い地域。ルート(IC)が近ければ良いというものではないので、アクセス道路等も含めてルートを検討をするべき。
- ・ ルート帯の外側(南側)を含めて検討することは良いことであるが、新たに対象となる地域のコミュニケーション活動をしっかり行う必要がある。

○委員長からの上記3点の提案については了承。

○規約の改正等

- ・ ワーキンググループ設置に伴う規約の改正等については了承。